

資料番号		2303-01-002-04	2303-01-016-03	2303-01-018-01	2303-01-019-02	2303-01-023-01
調査年月日		2003/9/9	2003/9/9	2003/9/9	2003/9/9	2003/9/9
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男
名称		婦人服地絹	婦人服地絹	婦人服地絹	婦人服地絹	婦人服地絹
糸	素材	絹		絹、金糸(金箔糸を芯糸に巻き付けたもの)	絹	23-1 レーヨン 21-3 レーヨン
	タテ		レーヨン			
	ヌキ		絹 2本駒			
色	地色	02-4 地色 ベージュ、緋部分 グレー 03-2黒、緋5色	カーキー色	若草色	紺色の縞	ベージュ グリーンの淡色
	糸色					
	タテ					
	ヌキ					
加工技法	織技法	経糸 緋、緯糸 無地 平織り	経糸がレーヨン、緯糸は絹の2本駒でジャガードにて経糸を表面に出し、幾何模様を織りだしている。	経緯糸ともに強撚糸を使った平織りに一越ごとに、交互に強撚緯糸と金糸を入れ、ジガードにて柄出ししている	経糸を二重にし、緯糸を強撚糸を使っている。裏面に無撚糸の経糸を使い小さなキノコ模様を表面に織り出している、模様部分以外は平織りとなっている。	ジャガードを使って縹子柄
	染技法	経糸捺染 02-4 直接捺染 03-2 着色抜染」			この生地には2ミリ幅の経縞に捺染が施されている。	無地の糸染め
	その他	2303-18-34-2 (着色抜染) -3 (直接捺染)				
文様		02-4 果物柄 03-2 花柄	幾何模様	菊様の草花柄	縞模様	花柄 ジャガードによる縹子柄。全体に空目柄が加工されている。
形状		裂地	裂地	裂地	裂地	裂地
用途					服地	
特記事項				本品はジョーゼット地の緯糸に絹強撚糸と金糸を交互に織り込み、経糸をジャガードにて金糸を表面に出して模様を表現している。地部分にも金糸が見え、キラキラしている。		モアレ加工(空目の模様から生地を2枚合わせにしてカレンダー掛したものと推定される。)
調査所見					織物柄がある上に経て捺染で効果を出したもので見る方向によって模様部分が濃淡に見える	
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦					
	横					
	織耳					
備考						

資料番号		2303-01-026-03	2303-01-035-03
調査年月日		2003/9/9	2003/9/9
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男
名称		婦人服地絹	婦人服地絹
糸	素材	絹縮緬地に白絹で模様入り	絹
	タテ		
	ヌキ		
色	地色	地色 赤 白、黒	地色 黒 模様部 紺、黄、ブルー で構成
	糸・顔 料		
	タテ		
加工技法	織技法	縮緬地に花柄を刺繍している	ジャガード織り 経糸で模様の色を表現している。地色は緯糸の黒で表現している。色は低燃糸を使用
	染技法		
	その他		
文様		花柄	幾何模様
形状		裂地	裂地
用途			
特記事項			鮮やかな色模様
調査所見			
製作地			
製作年			
織名称			
法量	縦		100
	横		70
	織耳		
備考			